

卒業生の皆さんへ

学ぶ場を失った被災地の子どもたちに“学びの場”を 被災地の「放課後学校」、短期での学習支援ボランティア募集



本校卒業生、「NPO カタリバ」代表の今村久美さん達が中心となって、現在宮城県、岩手県で子ども達の放課後学校を実施しています。この冬休み等で、被災地ボランティアを考えている皆さん、是非とも参加の検討をお願いします。

特定非営利活動法人NPOカタリバ(本部:東京都杉並区、代表理事:今村久美)は、東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた宮城県女川町・岩手県大槌町で、避難所生活で消灯時間が早いため、学習する機会が十分に保障されない子どもたちを支援するため、同町教育委員会と連携し、小中高校生向けの放課後学校の運営を開始しました。

今回、女川町・大槌町での短期ボランティアを募集しております。以下 2ヶ所のボランティア概要をお読みになりご参加のご検討をお願いします。

【コラボ・スクール女川向学館】

女川向学館は、被災地の学ぶ場を失った子どもたちに“学びの場”を、被災した先生たちに“教える場”を提供するために設立した「放課後学校」です。女川町は8割の住居が倒壊し、子どもたちは勉強部屋を失い、学習塾の9割が廃業しました。

そうした状況の中、NPO カタリバは女川町教育委員会と連携し、廃校になった校舎を借り、被災した塾講師を雇用し、放課後学校を始めました。小中学生 220人(女川町全体の約3分の1)が今年7月から無料で通っており、運営資金は全国の法人/個人からの寄付により運営しています。

お問い合わせ
NPO カタリバ 担当:小柳
TEL:080-4289-2992 Email:dr-tohoku@ml.katariba.net

現在、最も力を入れているのは、受験を控えた中学3年生に対する支援です。高校受験に被災地だけの加点はありません。彼らは内陸に住む子どもたちと同様に評価されます。そのため、震災によって遅れてしまった勉強を取り戻し、志望校に合格するために、彼らに対しては受験までにボランティアの協力を得て、個別指導を行っていかうと考えております。

震災があったから夢が叶わなかった。行きたい高校に行けなかった。一人でもそんな事を思わないで欲しい。彼らが来年の春に笑って向学館で学んで良かったと思ってくれるよう全国の皆様からのご協力が必要です。

ボランティア概要

活動内容

- ・女川町在住で向学館に中学3年生に対するの学習支援。
- ・向学館生徒に対するの個別指導。
- ・向学館の運営サポート。

指導対象

- ・女川町在住の向学館に通う中学3年生

提供するサポート

- ・宿泊施設有(シェアハウス無償提供)
- ・ネット環境有(向学館内)
- ・交通費

ボランティア期間が一週間以上の方には交通費をお支払い致します。

(領収書精算: 上限一万円以内)

「自宅最寄り駅-仙台: 高速バス」「仙台-石巻: 高速バス」

「石巻-女川町: 定期バス」の往復交通費分

活動時間

- ・毎日 14時から22時まで(日曜はお休み)

参加条件

- ・「子どもが好き」
- ・「被災地の子ども達の為に何かしたい」
- ・「被災地での教育に興味がある」
- ・「将来教員になろうと考えている方」
- ・「塾講師や家庭教師の経験を活かしたい」

に1つでも当てはまる方。

学習指導経験のない方でも構いません、謙虚に、成長したいという思いがあれば大丈夫です。

活動期間

お問い合わせ

NPOカタリバ 担当: 小柳

TEL: 080-4289-2992 Email: dr-tohoku@ml.katariba.net

向学館では随時、短期で関わりたいと考えている方を受け入れております。
原則1週間以上(5日間でも可)の関わりをしてくれる方を募集しています。
ご相談には応じます

費用

- ・食費 ボランティア各自負担(自炊できる環境はあります)
- ・交通費 1週間以上こちらで滞在される方にはこちらでお支払いします
(上記、提供するサポート参照)

その他の費用はボランティアの方各自でご負担頂きます。
(食費などを含めると1万円程)

その他

本校ならびに当団体は不慮の事故等への責任は負いかねます。各自ボランティア保険等に加えの上参加をお願い致します。



女川向学館個別指導の様子

お問い合わせ
NPO カタリバ 担当:小柳
TEL: 080-4289-2992 Email: dr-tohoku@ml.katariba.net

【大槌町コラボ・スクール】

東日本大震災で特に被害の大きかった岩手県大槌町。

この町は町長が津波で亡くなり、行政機能が麻痺し、復興が遅れている被災地の1つです。

もちろん、子どもたちは学びたくても、勉強できる場所がなく、仮設住宅の中で、十分な学習環境を確保することができていません。

NPO カタリバでは、被災地の子どもたちのための放課後学校「コラボ・スクール」の2校目を、女川町に続き、新たに大槌町で開校することにしました。

今回、新たに立ち上げる大槌町コラボ・スクールの短期ボランティアスタッフを募集します。

12/12(月)から原則1週間以上関わりたいと思っている方に、ぜひ来ていただききたいと思います。

日程に関しては相談に応じます。

ボランティア概要

勤務地

岩手県上閉伊郡大槌町

募集期間

2011年12月12日(月)より随時

ボランティア期間

原則1週間以上(5日以上でも可)

ご相談には応じます

活動内容

- ・大槌町在住の中学3年生に対する学習支援
- ・生徒に対する個別指導
- ・大槌町コラボ・スクールの運営サポート

指導対象

大槌町コラボ・スクールに通う中学3年生

提供するサポート

- ・宿泊施設(シェアハウス無償提供)
- ・交通費

ボランティア期間が1週間以上の方には、以下の往復交通費をお支払いします(領収書精算)。

お問い合わせ

NPO カタリバ 担当:小柳

TEL:080-4289-2992 Email:dr-tohoku@ml.katariba.net

「[池袋駅西口-大槌バイパス\(ローソン前\):高速バス](#)」 16,200円
チケット予約は各自でお願い致します。

参加条件

- 「子どもが好き」
- 「被災地の子ども達の為に何かしたい」
- 「被災地での教育に興味がある」
- 「将来教員になろうと考えている方」
- 「塾講師や家庭教師の経験を活かしたい」

に1つでも当てはまる方。

学習指導経験のない方も構いません、
謙虚に、成長したいという思いがあれば十分です。

費用

- ・食費 ボランティア各自負担(自炊できる環境はあります。)
- ・交通費 1週間以上滞在される方には、こちらでお支払いします。
(上記、提供するサポート参照)

その他の費用は、各自でご負担いただきます。
(食費などを含めると1万円程)

その他

本校および当団体は不慮の事故等への責任は負いかねます。各自ボランティア保険等に加えの上参加をお願い致します。

参考資料

NPO カタリバ

URL : <http://www.katariba.net/>

女川向学館

URL : [http://www.collabo-school.net//](http://www.collabo-school.net/)

お問い合わせ
NPO カタリバ 担当: 小柳
TEL: 080-4289-2992 Email: dr-tohoku@ml.katariba.net